

ハスモンヨトウ防除のための微生物資材の開発

多くの作物の葉や果実を食害し、化学農薬に対する抵抗性が付きやすいハスモンヨトウを防除できる微生物防除資材を開発しました。

成分は自然界から探索した緑きょう病菌で、防除効果は化学薬剤と同等以上でした。そして、選抜した菌株は、比較的低温湿度(60%程度)の環境下でも効果がみられるほか、オオタバコガやヨモギエダシヤクにも感染が認められています。保存年限は、暗黒低温条件で1年程度です。また、ほ場10aに散布するために必要な分量を100gのフスマペレット固形培地で作る技術も併せて開発しました。

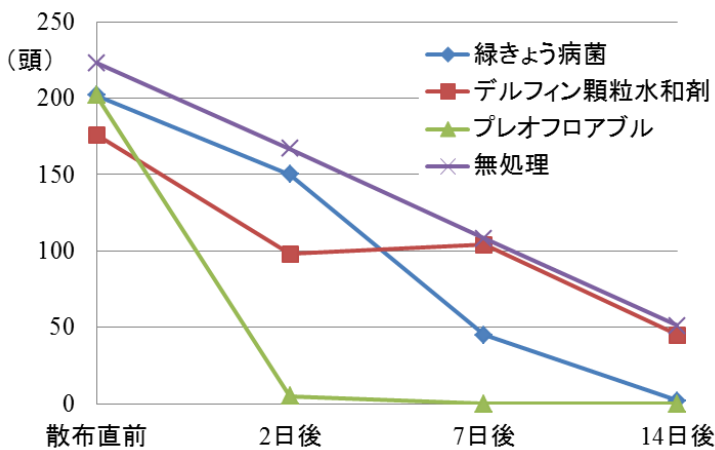
これらの技術は、2013年4月19日に特許登録されました(特許第5245140号)。



自然界からの探索
(緑きょう病菌に感染し、死亡した幼虫)

保存状態別の殺虫活性

保存温度	光条件	保存月数	供試虫数	累計死虫数(日後)					死虫率 (%)
				5	6	7	8	9	
30°C	明	1か月	11	0	0	0	0	0	0
25°C	明		13	0	0	6	6	6	46
	暗		15	0	11	15	15	15	100
4°C	暗	1か月	23	6	21	23	23	23	100
		6か月	32	0	10	24	30	32	100
		18か月	23	0	0	0	1	12	52



イチゴほ場におけるハスモンヨトウの防除効果試験



きのこ袋を使用した緑きょう病菌の大量増殖

(農林総合研究センター 病害虫防除技術担当 TEL 0480-21-1114)